

遺伝子治療 フォーラム

オンラインにて開催（※インターネットからライブ配信）

めざましい進歩を遂げる遺伝子治療。

がんや難治性疾患の新たな選択肢となりつつあります。

しかしその治療法は多岐にわたり複雑でわかりにくいのも現実です。

フォーラムでは遺伝子の役割を知り、遺伝子治療を正しく理解するために、最新の知見をもとに語り合います。

期日

2020年 **10**月 **4**日(日)

配信スタート: 午後1時30分

終了: 午後4時(予定) ※途中休憩あり

主催 日本遺伝子細胞治療学会 共催 **NHK**エンタープライズ

後援 厚生労働省 東京都 公益社団法人日本医師会 日本経済新聞社イベント・企画ユニット **NHK**厚生文化事業団

協賛 アンジェス株式会社 サレプタ・セラピューティクス株式会社 タカラバイオ株式会社 ノバルティスファーマ株式会社 (50音順)

オンライン
にて開催

遺伝子治療 フォーラム

プログラム

■ 配信スタート: 午後1時30分

第1部

- 遺伝子治療とは何か?
- 変わり始めた医療 SMA(脊髄性筋萎縮症)の遺伝子治療

休憩

第2部

- 開発が進む遺伝子治療 ~血管新生と新型コロナワクチン~
- ウィルスを活用した新たながん治療

■ 終了: 午後4時(予定)

出演者



とうどう ともき

藤堂 具紀

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター
先端がん治療分野 教授、日本遺伝子細胞治療学会 理事長

1985年東京大学医学部卒業。90年より2年間、独エアランゲン・ニュルンベルグ大学脳神経外科に留学。95年に米国ジョージタウン大学脳神経外科(Robert Martuza教授)にて遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いたウイルス療法の研究を開始、第2世代抗がんヘルペスウイルス(G207)の臨床試験にも関与。98年に同助教授。2000年に米国ハーバード大学マサチューセッツ総合病院脳神経外科助教授、東京大学トランスレーショナルリサーチセンター特任教授を経て、11年より東京大学医科学研究所教授。



もりした りゅういち

森下 竜一

大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学寄附講座 教授、
日本遺伝子細胞治療学会 副理事長

1987年大阪大学医学部卒業。91年から94年米国スタンフォード大学循環器科研究員、大阪大学助教授大学院医学系研究科遺伝子治療学を経て、2003年より大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学寄附講座教授(現職)。日本遺伝子細胞治療学会副理事長。日本血管認知症学会理事長、日本抗加齢医学会副理事長、日本抗加齢協会副理事長など各学会の理事を務めるほか、内閣府規制改革推進会議委員、内閣官房健康医療戦略参与(本部長安倍晋三内閣総理大臣)2025年大阪・関西EXPO具体化検討会委員など、公職を多数歴任。日本で初めて上場した大学発バイオベンチャー企業アンジェス株式会社創業者。



おおやま ゆうこ

大山 有子

SMA(脊髄性筋萎縮症) 家族の会 会長

2008年に長男を出産。生後4か月で脊髄性筋萎縮症(SMA)と診断される。2014年より「SMA(脊髄性筋萎縮症)家族の会」(<https://www.sma-kazoku.net/>)役員就任。以後、SMA患者のQOLアップや治療薬承認のための活動等に尽力している。2018年より同会会長就任。



いくいな あきこ

生稲 晃子

女優

1986年、フジテレビ「タヤけニヤンニヤン」オーディションに合格し、1987年うしろ髪ひかれ隊でデビュー。現在、女優、リポーター・講演活動などで活躍中。また、厚生労働省がん対策推進企業アクションアドバイザー、内閣府「働き方改革実現会議/働き方改革フォローアップ会合」民間議員などを務めている。著書「右胸にありがとう、そしてさようなら」(光文社)。社創業者。

コーディネーター



みやけ たみお

三宅 民夫

アナウンサー
立命館大学産業社会学部客員教授

1952年名古屋生まれ。75年NHK入局。岩手、京都勤務を経て、85年東京アナウンス室へ。『おはよう日本』『紅白歌合戦』など、さまざまな番組を進行。その後、日本のこれからを考える多数討論を長年にわたり司会すると共に、『NHKスペシャル』キャスターとして、「戦後70年」や「深海」など大型シリーズも担ってきた。2017年NHKを卒業し、フリーに。現在は、NHKラジオ『三宅民夫のマイあさ!』(月~金R1午前6:40~8:30)、総合テレビ『鶴瓶の家族に乾杯』の語りなどを務めている。著書に「言葉のチカラ」(NHK出版電子版)。

【お問い合わせ】 遺伝子治療フォーラム係 TEL 03-3485-8572 (平日午前10時~午後5時)